

事務事業チェックシート

事務事業No **347** 事業名 **保健センター施設管理事業**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		地域保健費	
	大事業		地域保健事業	
事項		保健センター施設管理事業		

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
基本方針	4	健康づくり推進体制の充実

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	川口 隆弘 (488-5119)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か)	事業内容				
	利用する市民が、安全で快適に利用できる状態にする。	庁舎管理に関する各種契約業務や支払い業務、施設・設備の修繕、火災保険への加入、業者委託による庁舎清掃、庁舎警備、乳幼児健診時の駐車場誘導警備等				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		より安全で快適な施設環境づくりをするための庁舎管理・清掃・冷暖房装置保守点検等の管理委託や光熱水費・所々修繕料・庁用及び業務用器具修繕料等の管理を行う。	より安全で快適な施設環境づくりをするための庁舎管理・清掃・冷暖房装置保守点検等の管理委託や光熱水費・所々修繕料・庁用及び業務用器具修繕料等の管理を行う。	より安全で快適な施設環境づくりをするための庁舎管理・清掃・冷暖房装置保守点検等の管理委託や光熱水費・所々修繕料・庁用及び業務用器具修繕料等の管理を行う。	より安全で快適な施設環境づくりをするための庁舎管理・清掃・冷暖房装置保守点検等の管理委託や光熱水費・所々修繕料・庁用及び業務用器具修繕料等の管理を行う。	より安全で快適な施設環境づくりをするための庁舎管理・清掃・冷暖房装置保守点検等の管理委託や光熱水費・所々修繕料・庁用及び業務用器具修繕料等の管理を行う。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	14,014	16,090	13,435	10,605	15,904	13,205	15,191		15,191	
伸び率 (%)	-	-	-4.1%		18.4%		-4.5%		0.0%	
人件費	常勤職員	4,085	4,085	3,616	3,616	3,582	3,502		3,502	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	4,085	4,085	3,616	3,616	3,582	3,502		3,502	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	133	136	135	322	465	876	862		862	
一般財源(税等)	13,881	15,954	13,300	10,283	15,439	12,329	14,329		14,329	
所要人数	常勤職員	0.54	0.54	0.49	0.49	0.47	0.47		0.47	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0		0	
主な予算内訳										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	修繕箇所数	年度目標値							
		実績値			22	0	5		
	単位	件数	全体目標値						
			全体目標達成度						
成果指標	施設に対するクレーム件数	年度目標値			0	0	0		
		実績値			0	0	0		
	単位	件	全体目標値						
			全体目標達成度			100.0%	100.0%	100.0%	
		年度目標値							
		実績値							
単位		全体目標値		全体目標達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>各保健センターともに、庁舎管理に関する業務がスムーズに執行されている。特に、西保健センターにおいては、庁舎の老朽化が進む中、修繕箇所が増えているものの、業務遂行には差し支えなく、市民に対しても不具合を生じさせることなく修繕等順次行えている。</p> <p>平成29年度には、西保健センターの新築移転が予定されているが、それまでの間、修繕業務も続くことが予測され、随時適切に対処していくことが必要となる。</p> <p>その他の施設管理業務についても、ほぼ現状通り、より良い方法で進めていく必要がある。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>西保健センターの新築移転が完了すれば、しばらくの間は大規模な修繕は不必要になると考えられ、修繕コストは下がると思われる。修繕以外の業務を少しでも充実させていきたい。</p>